

6

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 / 95 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Windows NT / 2000 モデルには、リカバリ CD が同梱されています。

本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 190
- 2** 標準システムを復元する 192
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 / 95 モデル)..... 196
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 / 95 モデル)..... 199

1 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは

1 カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルには次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Product Recovery CD-ROM
アプリケーション&ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows のみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする」



メモ

・カスタム・リカバリ CD は絶対なくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリ CD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリ CD は、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルにはアプリケーション CD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーション CD は、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーション CD をセットし、表示される画面をご覧ください。



メモ

・リカバリ CD とアプリケーション CD は絶対なくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

2 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）

外付け CD-ROM ドライブ

（型番：PA2671UJ、IPC5013A または PA2673UJ）

またはマルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ



メモ

・オプションの CD-ROM ドライブ PA2673UJ をお使いの場合は、PC カード側面のモード切替スイッチを [16Bit] 側に設定してください。

Windows 98 / 95 モデルの場合、「標準システムインストール起動ディスク」を使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。

☞ 詳細について ☞ 《オンラインマニュアル》

☞ オンラインマニュアルの起動 ☞ 「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」

また、Windows 95 ではセットアップ時に Product ID の入力が必要です。Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

2 操作手順

● Windows 98 / 95 モデルの場合



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 パソコンの電源を切る

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。

3 パソコンにCD-ROMドライブを接続する

PCカードタイプのCD-ROMドライブを使う場合

パソコンのPCカードスロットにCD-ROMドライブのPCカードを接続します。

標準システムインストール起動ディスクを使用すると、使用できるPCカードタイプのCD-ROMドライブの種類が増えます。

⇒ 詳細について ⇨ 《オンラインマニュアル》

マルチメディアポートリプリケータのCD-ROMドライブを使う場合
拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。

4 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を外付けCD-ROMドライブにセットする

5 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる 「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

6 [1]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

7 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。
復元を開始します。

8 CDを入れ替えるメッセージが表示された場合、CDを入れ替えて[Enter]キーを押す

処理が続きます。画面の指示に従ってください。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 CDを取り出し、パソコンからCD-ROMドライブやマルチメディアポートリプリケータなどの周辺機器をすべて取りはずしてから、何かキーを押す

システムが再起動します。

10 Windowsのセットアップを行う

⇒ Windowsのセットアップについて

⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるとき」

Windows 2000 / NT モデルの場合




注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。



メモ

・ご購入時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、「ディスクアドミニストレータ」( 「ディスクの管理」) を使用してください。
⇒ 「ディスクアドミニストレータ」 / 「ディスクの管理」について
⇒ 『Windows のヘルプ』

- 1 パソコンの電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻す増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。
- 2 パソコンに CD-ROM ドライブを接続する
PC カードタイプの CD-ROM ドライブを使う場合
パソコンの PC カードスロットに CD-ROM ドライブの PC カードを接続します。
マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブを使う場合
セレクトアブルベイに CD-ROM ドライブをセットし、拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。
- 3 「Product Recovery CD-ROM」を外付け CD-ROM ドライブにセットする
- 4 キーボードの **C** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
TOSHIBA のロゴが表示されたら **C** キーを離します。
「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。
- 5 復元したいシステムのキーを押す
Windows 2000 の場合は **1** キー、Windows NT の場合は **2** キーを押します。
- 6 復元を行う場合は **Y** キーを、復元を行わない場合は **N** キーを押す
Y キーを押すと、復元の処理を開始します。

7 表示される画面の指示に従って操作する

CDを入れ替えるメッセージが表示された場合、CDを入れ替えてキーを押してください。処理が続きます。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 パソコンの電源を切り、CD-ROMドライブやマルチメディアポートリプリケータを取りはずす**9** パソコンの電源を入れ、Windowsのセットアップを行う

「2章2 初めて電源を入れるとき」のWindows 2000またはWindows NTのセットアップの手順4から操作を行なってください。

Windows 98 / 95 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。

- ・最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、アプリケーション & ドライバ CD-ROM よりデバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- ・最小構成で復元した場合は、Windows のセットアップ画面が、パソコンのご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書 (本書)



外付け CD-ROM ドライブ (型番 : PA2671UJ、IPC5013A または PA2673UJ)

またはマルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブ




メモ

- ・オプションの CD-ROM ドライブ PA2673UJ をお使いの場合は、PC カード側面のモード切替スイッチを [16Bit] 側に設定してください。
「標準システムインストール起動ディスク」を使用すると、使用できる CD-ROM ドライブの種類が増えます。
☞ 詳細について ☞ 《オンラインマニュアル》
- ・ネットワークを介して接続された CD-ROM ドライブは使用できません。
- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量 (ご購入時のディスク使用量) が必要です。

また、Windows セットアップ時に Product Key ( Product ID) の入力が必要です。Product Key ( Product ID) はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

② 操作手順

 **注意** ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。ハードウェア構成を変更している場合は、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などは取りはずしてください。
- 3 パソコンに CD-ROM ドライブを接続する
PC カードタイプの CD-ROM ドライブを使う場合
パソコンの PC カードスロットに CD-ROM ドライブの PC カードを接続します。
マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブを使う場合
拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。
- 4 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットする
- 5 キーボードの **C** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 6 **2** キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 7 **Y** キーを押す
処理を中止する場合は、**N** キーを押してください。
復元を開始します。

- 8** CD を入れかえるメッセージが表示された場合、CD を入れ替えて **[Enter]** キーを押す
処理が続きます。画面の指示に従ってください。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。
- 9** CD を取り出し、パソコンから CD-ROM ドライブやマルチメディアポートリプリケータなどの周辺機器をすべて取りはずしてから、何かキーを押す
システムが再起動します。
- 10** Windows のセットアップを行う

Windows 98 / 95 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。再インストールには「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

ここでは、「東芝ユーティリティ」を再インストールする場合を例にあげて説明します。

1 パソコンに CD-ROM ドライブを接続する

PC カードタイプの CD-ROM ドライブを使う場合

パソコンの PC カードスロットに CD-ROM ドライブの PC カードを接続します。

マルチメディアポートリプリケータの CD-ROM ドライブを使う場合
拡張コネクタにマルチメディアポートリプリケータを接続します。

2 「アプリケーション&ドライバ CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブにセットする

3 メイン画面が表示されたら、[アプリケーション] をクリックする

[アプリケーション] 画面が表示されます。

[アプリケーション] の画面は左右二つに分かれています。

左側にアプリケーションの一覧、右側にアプリケーションの説明が表示されます。

4 画面左側のアプリケーションの一覧から「東芝ユーティリティ」をクリックする

5 画面右側の [東芝ユーティリティのセットアップ] をクリックする

[ファイルのダウンロード] 画面が表示されます。

6 [このプログラムを上記の場所から実行する] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

完了すると、[セットアップの完了] 画面が表示されます。

7 [はい、直ちにコンピュータを再起動します] をチェック () する

8 終了ボタンをクリックする

パソコンが再起動されます。



メモ

・すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行なってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1 困ったときは	202
----------------	-----

1 困ったときは

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解消法のヒントをご紹介します。オンラインマニュアルをご覧になれる状態のときは、《オンラインマニュアル 困ったときは》もご覧ください。

1 Q & A を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル]の開き方を説明します。

● 方法 1 - [スタート]メニューから開く

- 1 [スタート]ボタンをクリックする
- 2 [設定]にマウスポインタを合わせる
- 3 [コントロールパネル]をクリックする
[コントロールパネル]が開きます。

● 方法 2 - [マイコンピュータ]から開く

- 1 デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする
[コントロールパネル]が開きます。

2 Q&A 集

● 電源を入れるとき / 切るとき...

- 電源が入らない / システムが起動しない 205
- 自動的にプログラムが実行される 207
- 電源が切れる 208
- 電源が切れない 209
- 電源が入ってしまう 209

● 表示・画面について

- 画面に何も表示されない 210
- 画面が見にくい 211
- 表示自動停止機能が働かない 215
- タスクバーの表示 215
- ファイルが見つからない 216

● アプリケーションについて

- アプリケーションが使えない 217

● 印刷について

- 印刷できない 218

● キーボード・マウス・アキュポイント について

- 思うように文字が入力できない 219
- マウスが使えない 222

● 周辺機器についてのトラブル

- フロッピーディスクについて 225
- CD について 228
- PC カードについて 229
- LAN 機能が使えない 232
- USB 機器について 233
- IEEE1394 機器について 234
- 赤外線通信について 234

● インターネット / メール機能について (モデム内蔵モデル)

- 回線が繋がらない 238
- その他 245

● 音量について

- スピーカから音が聞こえない 247
- おかしい音が聞こえる 249

● 調子がおかしい!

- テレビ、ラジオに障害が出る 250
- ハイパネーション機能が使えない 251
- パソコンの動作がおかしい 253
- その他調子がおかしい 255

● 不明なメッセージが出た!

- 256

● 異常や故障の場合

- 258

● 東芝 PC サービス・サポートのご案内

- 258

● 電源を入れるとき / 切るとき...

● 電源が入らない / システムが起動しない



パソコンの電源が入らない



電源スイッチがロックされている

電源スイッチロックを左側にしてロックを解除し、再度電源スイッチを押してください。



電源スイッチを押す時間が短い

電源スイッチをしばらく押し続けてください。



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(Main Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)



バッテリーの充電量が少ない

本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
充電済みのバッテリーパックを取り付ける



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)



電源の接触が悪い

AC アダプタを抜き差ししてみる

バッテリーパックを抜き差ししてみる

リセットスイッチを押す

先の細い、丈夫なもの (例えばクリップを伸ばしたものなど) で押してください。



危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ

パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ~ 35 です。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

電源を入れたが、システムが起動しない

ハイバネーション機能による起動ができなくなった

ハイバネーション機能によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。

この場合、ハイバネーション機能によって保存されたデータは失われます。

電源を切る

BackSpace キーを押しながら、電源スイッチを押す
次のメッセージが表示されます。

「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE.」

何かキーを押す

システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている フロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。

リセットスイッチを押してもハイバネーションの画面の後にシステムが停止してしまい、キー操作ができない

電源を切り、**BackSpace** キーを押しながら電源を入れる

「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まる

前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った

スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起動します。

正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

● 自動的にプログラムが実行される



Windows の起動と同時にプログラムが実行される



「スタートアップ」に登録されている

「スタートアップ」に登録されていると、Windows 起動と同時に、プログラムが自動的に起動します。

次の手順で設定を変更してください。

98 95

[スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート]
メニュー ...] をクリックする

[[スタート] メニューの設定] タブで [削除] をクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。

[スタートアップ] をダブルクリックする

[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。

削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除]
ボタンをクリックする

[閉じる] ボタンをクリックする

2000

[スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート]
メニュー ...] をクリックする

[詳細] タブで [削除] をクリックする

[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。

[スタートアップ] をダブルクリックする

[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。

削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除]
ボタンをクリックする

確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックする

[閉じる] ボタンをクリックする



- [スタート] - [設定] - [タスクバー] をクリックする
- [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする
- [ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- [スタートアップ] をダブルクリックする
- [スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
- 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
- 確認メッセージが表示されます。
- [はい] ボタンをクリックする
- [閉じる] ボタンをクリックする

● 電源が切れる



パソコン使用中に電源が切れる



危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるとのを待つ

パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は 5 ~ 35 です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。



警告音が鳴り、Main Battery LED が消灯した



バッテリーの充電量が少なくなった

AC アダプタを接続する

充電済みのバッテリーパックを取り付ける

● 電源が切れない



電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッピッ…」と音が鳴り続ける



電源スイッチを 5 秒以上押す



リセットスイッチを押す



AC アダプタ バッテリパックの順に取りはずし、再度
バッテリパック AC アダプタの順に取り付ける

● 電源が入ってしまう



自動的に電源が入ってしまう



自動的に電源が入るよう Windows やユーティリティで設定されている

98 **2000**

Windows のタスクスケジューラが設定されています。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[タスク]をクリックし、設定されているプログラムを削除してください。



95 **NT**

[省電力ユーティリティ]で「タイマオン機能」が設定されています。

[コントロールパネル]-[省電力]の[タイマオン機能]タブで設定をオフにしてください。


☞ 省電力設定について ☞ 「5章 1 消費電力を節約する」

● 表示・画面について





● 画面に何も表示されない



画面に何も表示されない

(Power  LED が点灯していない、またはオレンジ点灯している場合)



電源が入っていない、またはスタンバイ状態 ( )、
サスペンド状態 ( ) になっている
電源スイッチを押してください。





画面に何も表示されない

(Power  LED が点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた

- ・  キーや  キーを押す
- ・ マウスやアキュポイント を動かす






メモ

・CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。故障ではありません。



インスタントセキュリティ (表示自動停止) 機能が働いた
次の操作を行なってください。

- ・ パスワードを設定していない場合
 キーまたは  キーを押す
- ・ パスワードを設定している場合
パスワードを入力し、 キーを押す






メモ

・パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。
・パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。



表示装置が外部 CRT に設定されている

 +  キーを押して表示装置を切り替えてください。
押すごとに表示が切り替わります。

☞ 「1 章 -  キーを使った特殊機能キー」

● 画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



画面が暗い

画面の輝度 (**98** : 8段階、 **95** : 4段階、 **2000** : 3段階、 **NT** : 8段階) を変更する

方法 1- 省電力ユーティリティで変更する

98 **2000**

[コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリックする

[電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、
[詳細] ボタンをクリックする

[省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

95 **NT**

[コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリックする

[省電力モード] タブで利用したい省電力モードを選択し、
[詳細設定] ボタンをクリックする

[ディスプレイ] タブで [輝度設定] を設定する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

方法 2- **[Fn]** キーを使用する (**98**)**[Fn]** + **[Esc]** キーを押す

設定されている輝度の値が反転表示されます。

[Fn] キーを押したまま **[Esc]** キーを押し直す**[Esc]** キーを押すたびに輝度の値が切り替わります。**[Fn]** キーを離す

手順 で表示された輝度に切り替わります。



サイドライト用の冷陰極管が消耗している
お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



メモ

・ディスプレイに装着されているサイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。



画面の外に黒い枠が表示される



低い解像度で設定されている

[画面のプロパティ] で領域サイズを変更してください。

98 2000

[コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
[設定] タブの [画面の領域] で領域サイズを変更する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする

95

[コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
[ディスプレイの詳細] タブの [デスクトップ領域] で領域サイズを変更する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする

NT

[コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
[ディスプレイの設定] タブの [デスクトップ領域] で領域サイズを変更する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする



色が汚い



少ない色数で設定されている
次の手順で設定を変更してください。

98

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブで[色]を[High Color]や[True Color]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

95

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの詳細]タブで[カラーパレット]を[High Color]や[True Color]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

2000

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブで[画面の色]を[High Color]や[True Color]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

NT

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの設定]タブで[カラーパレット]を[65536色]や[True Color]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする



メモ

・解像度によっては[High Color]や[65536色] [True Color]に設定できません。



画面の領域や色が変更できない



ディスプレイの設定を確認してください。

98

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブで各設定が正しいか確認する
- [OK]ボタンをクリックする

95

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの詳細]タブの各設定が正しいか確認する
- [OK]ボタンをクリックする

2000

- [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
- [ハードウェア]タブで[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、[ディスプレイアダプタ]が正しく設定されているか確認する
- [OK]ボタンをクリックする

NT

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの設定]タブで[ディスプレイの種類]ボタンをクリックし、ディスプレイが正しく設定されているか確認する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする



CRT ディスプレイにうまく表示されない



拡張コネクタにI/Oアダプタ、ミニI/Oアダプタ、マルチメディアポートリプリケータのいずれかを接続した状態でパソコン本体のRGBコネクタを使用している
上記の機器を接続している場合、CRTディスプレイはパソコン本体ではなく、接続した機器側のRGBコネクタに接続してください。



CRTディスプレイで、画面の色がにじんだように表示される



ほかの電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざける





メモ

・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合があります。

● 表示自動停止機能が働かない



画面の表示自動停止を設定しても自動オフしない  



MS-DOS プロンプトがアクティブになっている

MS-DOS プロンプトを終了する

MS-DOS プロンプトを最小化する

● タスクバーの表示



スタートボタン/タスクバーが表示されない



タスクバーの高さを低く設定している

次の手順で高さを調節してください。

マウスポインタを画面下に移動する

マウスポインタの形状が上下(↑↓)の矢印に変わったら、マウスを上下方向にドラッグする

適度な位置でマウスの左ボタンを離す



タスクバーを隠すように設定されている

次の手順で常にタスクバーを表示する設定に変更してください。

マウスポインタをタスクバー上に移動し、右クリックする
表示される項目から [プロパティ] をクリックする

[自動的に隠す] のチェック () をはずす

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じる



使用していたウィンドウが見えなくなった



他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている
タスクバーに表示されている、使用していたウィンドウと同じ
名前のボタンをクリックしてください。

他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一
番手前に表示されます。

● ファイルが見つからない




ファイルを保存した場所がわからない




[検索] 機能を使って検索する

次の手順で検索してください。

[スタート] - [検索] - [ファイルやフォルダ] をクリック
する

[名前と場所] タブの [名前] 欄 ( [ファイルまたは
フォルダの名前]) に探したいファイルの名前を入力する

[探す場所] の  をクリックし、一覧から探したい場所
をクリックし、[検索開始] をクリックする

ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示
されます。

目的のファイルを開く

● アプリケーションについて

アプリケーションの使い方については、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

● アプリケーションが使えない



アプリケーションが使えない



正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。



アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞ 『アプリケーションに付属の説明書』



メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

☞ メモリの増設 ☞ 「4章 9 メモリを増設する」



システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。



プレインストールされていたアプリケーションを削除してしまった

添付のCD-ROMから再インストールしてください。

98 95

「アプリケーション & ドライバCD-ROM」を使用して再インストールします。本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバは、削除してしまった場合も、再インストールできます。

☞ 「6章 4 アプリケーションを再インストールする」

2000 NT

「アプリケーションCD」を使用して再インストールします。あらかじめ「アプリケーションCD」に収録されているアプリケーションは何度でも再インストールできます。

● 印刷について

● 印刷できない

印刷できない

プリンタの電源が入っていない

次の操作を行なってください。

- ・ パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直す
- ・ 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていない正しく接続し直してください。

接続しているプリンタと違うプリンタを設定しているプリンタの設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする
接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
ショートカットメニューが表示されます。

「通常使うプリンタに設定」にチェック () をつける

最後まで正しく印刷できない

ECP に対応していないプリンタを使用しているプリンタのモードを双方向に設定してください。

98 95

[コントロールパネル] を開き、[Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする
[Parallel/Printer] タブで [Parallel Port Mode] を [Standard Bi-directional] に設定する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする

2000 NT

[コントロールパネル] を開き、[HW セットアップ] をダブルクリックする
[プリンタ] タブで [プリンタポートモード] を [双方向] に設定する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする



プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。

98 **2000**

Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードでき、ドライバを更新できる場合があります。Windows Update は [スタート] - [Windows Update] をクリックしてください。



上記のすべてを行っても印刷できない



Windows を終了し、パソコンを再起動する



前述のどれを行っても印刷できない



プリンタのセルフテストを実行する

● キーボード・マウス・アキュポイント について

● 思うように文字が入力できない



キーボードのキーを押しても文字が表示されない



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



半角の「**´**」(チルダ)が入力できない



英数字の入力、ローマ字入力の場合

Shift + **´** キーを押す

98 **95**

かな入力の場合

「**による**」と入力し、**Space** キーを押して変更する



キーボードの印刷通りに「£」、「¢」、「々」などの文字が入力できない



本製品で使用している OADG 規格のキーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。

詳しくは、お使いの日本語入力システムに付属の説明書をご覧ください。

なお、本製品に標準装備している MS-IME では、次の読みで入力すると変換できます。

- ・ £ ... 「ぼんど」または「たんい」
- ・ ¢ ... 「せんと」または「たんい」
- ・ 々 ... 「おなじ」または「たんい」



キーを押しても希望の文字が入力できない



文字ロックの状態が合っていない

キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。次のキーを使って、キーボードを希望の状態にしてください。

98 95


- ・ + 英数
- ・ + キー
- ・ + キー
- ・ + キー

2000 NT

- ・ + + キー
- ・ + キー
- ・ + キー

☞ 「1章 6 キーボード」

キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

 キーボードドライバが正しく設定されていない
次の手順で設定を変更してください。

98 95

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで[キーボード]を[106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)]に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

2000

[コントロールパネル]を開き、[キーボード]をダブルクリックする

[入力ロケール]タブで規定値を日本語に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

NT


[コントロールパネル]を開き、[キーボード]をダブルクリックする


[全般]タブで[キーボードの種類]を[PC/AT106 Japanese(A01)Keyboard]に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

Alt + **半/全** キーを押しても、漢字モードにならない

 日本語入力システムが組み込まれていない
日本語入力システムを組み込んでください。

 キーボードドライバが正しく設定されていない
キーボードドライバの設定を確認してください。

☞「Q. キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう」



どのキーを押しても、反応しない
設定は合っているが、希望の文字が入力できない



内部処理が正しく行われなかった
次の操作を行なってください。

- ・電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す
- ・リセットスイッチを押す

● マウスが使えない



アキュポイント やマウスを動かしても画面のマウスポインタが動かない(反応しない)



システムが処理中である
マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



PS/2 マウスが使えない



パソコン本体の電源を入れたまま接続した
マウスを接続した状態で、電源を入れ直す



パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、再度パソコン本体の電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない
次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。

98 95

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]
(95 [ハードウェア])をダブルクリックする
[次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

2000

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加と削除]
をダブルクリックする
[次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。



アキュポイント と PS/2 マウスが同時に使用できない



ポインティング装置と同時に使用できるように設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

マウスによっては同時使用できない場合があります。

98 **95**

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[Pointing Devices]タブで [Pointing Devices]を [Simultaneous]に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

2000 **NT**

[コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする

[ポインティング装置]タブで [ポインティング装置]を [同時使用]に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする



シリアルマウスが使えない



シリアルマウスが認識されていない

98 95 2000

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。

シリアルマウスとアキュポイント が同時に使えるようになります。

認識されない場合は、次の操作を行なってください。

2000

1. [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
2. [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
3. [マウスとそのほかのポインティングデバイス] を右クリックし、[ハードウェア変更のスキャン] をクリックする

NT

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。表示される画面に従ってください。シリアルマウスとアキュポイント が同時に使えるようになります。

上記の手順で認識されない場合は、次の操作を行なってください。

1. [コントロールパネル] を開き、[マウス] をダブルクリックする
2. [デバイス] タブで [デバイスの変更] ボタンをクリックする
3. [デバイス情報] のメニューから COMMS コネクタに接続したデバイスを選択する
4. [適用] ボタンをクリックする

● 周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「4章 ハードウェアについて」もあわせてご覧ください。

● フロッピーディスクについて



フロッピーディスクに書き込み（保存）できない



フォーマットされていない

フォーマットされていないフロッピーディスクは書き込み（保存）できません。



メモ

・フォーマット可能な形式は2DDの場合720KB、2HDの場合1.44MBのみになります。



書き込み禁止状態になっている

フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にする

☞ 書き込み禁止状態、書き込み可能状態

⇒「4章 4 フロッピーディスクを使う」



フロッピーディスクの空き容量が少ない

不要なファイルを削除して、やり直す別のフロッピーディスクを使用する



「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された




ルートディレクトリに作成できるファイル数を超えた


フォルダを作って、そこにファイルを作成してください。

ルートディレクトリに作成できるファイル数には制限があります。

ファイルが開けない

(読み込みエラーやディスクエラーが表示される)

 フロッピーディスクドライブが故障している
他のフロッピーディスクで試してみてください。

 フロッピーディスクに何らかの問題がある
フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。


 **98**  **95**

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システム
ツール]-[スキャンディスク]をクリックする
「エラーチェックをするドライブ」欄で「3.5 インチ FD
(A:)」を選ぶ
[開始]ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。


 **2000**  **NT**

[マイコンピュータ]を開く
フロッピーディスクアイコンを右クリックし、表示され
るメニューから[プロパティ]をクリックする
[ツール]タブで[チェック]ボタンをクリックする

フォーマットに時間がかかる

 Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディ
スクの場合、時間がかかります。

フロッピーディスクドライブのLEDが消えない

 データを処理している

大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LEDが消えるまで待ってください。

どうしても消えないときは作業を中断し、リセットスイッ
チを押して再起動してください。

再起動後、作業を行い、LEDが消えない場合は、電源を切
り、お近くの保守サービスに連絡してください。



フロッピーディスクからシステムが起動しない



システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている

システムが入ったフロッピーディスクと入れ替えてください。



フロッピーディスクから起動するように設定されていない次の操作を行なってください。

98 95

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[USB]タブで[USB-FDD Legacy Emulation]を[Enabled]に設定する

[Boot Priority]タブの[Boot Priority Options]で[FDD]が最初になるように設定する

[OK]ボタンをクリックする

2000 NT

[コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする

[USB]タブで[USB-FDD Legacy Emulation]を[有効]に設定する

[OSの起動]タブで[OSの起動]を[FDD]が最初になるように設定する

[OK]ボタンをクリックする

● CD について



CD にアクセスできない



CD-ROM ドライブのディスクトレイがきちんとしまっていない

カチッと音がするまで押し込んでください



CD-ROM ドライブに CD がきちんとセットされていない
ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。



CD-ROM ドライブのディスクトレイ内に異物がある
異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。



CD が汚れている

汚れている場合は、乾燥した布で吹いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。



CD-ROM ドライブが CD を認識していない

CD-ROM ドライブの LED が点滅している間は、まだ認識されていません。

消灯するまで待って、再度アクセスしてください。



CD-ROM ドライブのレンズが汚れている

汚れを市販のレンズクリーナで取り除いてください。



CD をセットしても自動的に起動しない



自動機能に対応していない CD を挿入している

次の手順で起動してください。

デスクトップの [マイコンピュータ] を起動する

CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックする



正しく動作する CD もあるが、動作しない CD もある



使用環境の設定が必要な CD を使用している

各 CD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『CD に付属の説明書』を読んで、それぞれの CD に合った環境を設定してください。

CD-R、CD-RW には、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。



CD が取り出せない



CD-ROM ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押す

☞ 『CD-ROM ドライブに付属の説明書』

● PC カードについて



PC カードの挿入が認識されない



PC カードを奥までしっかり差し込む

イジェクトボタンが出てくるまで差し込んでください。

☞ PC カードの取り付け ☞ 「4 章 3 PC カードを使う」



PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない



PC カードのコントローラモードが正しく設定されていない次の手順で設定を変更してください。

98 95

[コントロールパネル] を開き、[Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする

[PC Card] タブで [PC Card Controller Mode] を変更する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

2000 NT

[コントロールパネル] を開き、[HW セットアップ] をダブルクリックする

[PC カード] タブで [PC カードコントローラ] を変更する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする



MS-DOS 上で使用しようとしている



本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS モードで PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。



デバイスとして認識されるが使用できない



IRQが不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

98 95





- [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
- [デバイスマネージャ]タブで使用しないデバイスの[+]をクリックする
- 表示される項目から使用しないデバイスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする
- [全般](**95** [情報])タブで[このハードウェアプロファイルで使用不可にする](**95** [このハードウェア環境で使用不可にする])をチェックし、[OK]ボタンをクリックする
- [閉じる]ボタンをクリックする

2000

- [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
- [ハードウェア]タブで[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする
- [デバイスマネージャ]で使用しないデバイスの[+]をクリックする
- 表示される装置から使用しないデバイスを右クリックし、[無効]をクリックする
- 確認メッセージ画面で[はい]ボタンをクリックする
- [デバイスマネージャ]を閉じる
- [システムのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

NT





- [コントロールパネル]を開き、[デバイス]をダブルクリックする
- 使用しないデバイスをクリックし、[ハードウェアプロファイル]ボタンをクリックする
- [無効]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする
- [閉じる]ボタンをクリックする

 PCカードが正常に動作しない ( ) PCカードの省電力機能が設定されている
次の手順で設定を変更してください。 **98**

- [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
- [詳細] ボタンをクリックする
- [省電力] タブで [PCカード] をクリックして表示されるメニューから [オン] をクリックする
- 選択されたメニューには がつきます。
- [適用] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする

 **95**

- [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
- [省電力モード] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする
- [その他] タブで [PCカード (モデム / シリアル) を使用しないときオフにする] のチェックをはずす
- [適用] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする

 CardBus カードが認識されない [Toshiba Hardware Setup] (  [HWセットアップ]) の設定を変更する **98**  **95**

- [コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする
- [PC Card] タブで [PC Card Controller Mode] を [CardBus / 16bit] に変更する

 **2000**  **NT**

- [コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ] をダブルクリックする
- [PCカード] タブで [PCカードコントローラ] を [カードバス / 16bit] に変更する

LAN 機能が使えない



ネットワークに接続できない






相手先のネットワーク機器 (HUB) などの設定やケーブルの状態を確認する






Windows のネットワーク設定を確認する
ネットワーク管理者に確認してください。



LAN 機能が無効に設定されている (  )
次の設定を変更してください。



[コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする

[デバイスマネージャ] タブで [ネットワークアダプタ] の左の  をクリックする

 が  に変わり、項目が表示されます。

表示された項目から、「Toshiba Fast Ether LAN Adapter」をクリックする

[プロパティ] ボタンをクリックする


[全般] ( [情報]) タブで [このハードウェア プロファイルで使用不可にする] ( [このハードウェア環境で使用不可にする]) のチェック () をはずす



[OK] ボタンをクリックする

[システムのプロパティ] 画面に戻ります。

[閉じる] ボタンをクリックする

[コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする


[ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] をクリックし、[デバイスマネージャ] 画面で [ネットワークアダプタ] の左の  をクリックする

 が  に変わり、項目が表示されます。

表示された項目から、「Intel 825x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」を右クリックし、[有効] をクリックする

[OK] ボタンをクリックする



ServicePack6 のセットアップを行う ()

☞ PC カードの取り付け

⇒ 「4章 6-5- Service Pack のインストールについて」

● USB 機器について



USB 機器が使えない



Windows NTを使用している

Windows NTモデルでは、USB フロッピーディスクドライブ（別売り）以外の USB 機器をサポートしていません。



USB 機器がシステムに対応していない

USB 機器によっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞ 『USB 機器に付属の説明書』



正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体と USB 機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、次のアイコンをダブルクリックする

98 : [ハードウェアの追加]

95 : [ハードウェア]

2000 : [ハードウェアの追加と削除]

[次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。



Windows を再起動する



ハイパーネーションから復帰後、正常に動作しない

(**98** **95** **2000**)



ハイパーネーションに対応していない USB 機器を接続している

USB コネクタから 1 度はずし、再度接続してください。

● IEEE1394 機器について



IEEE1394 機器が使えない



正しく接続されていない

ケーブルが、コンピュータと IEEE1394 機器に正しく接続されているか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない

次の手順でインストールしてください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする

画面の指示に従って操作してください。



IEEE1394 機器の電源を入れる



Windows を再起動する



省電力モードの設定を変更する

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする

[電源設定]タブで利用する省電力モードの[詳細]ボタンをクリックする

[省電力]タブで、IEEE1394 機器をクリックし、表示されるメニューから[オン]をクリックする

選択されたメニューには、がつきます。

[OK]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

● 赤外線通信について



赤外線通信ができない



赤外線ポートを正しく設定する






通信先とパソコンの通信速度を同じにする




赤外線ポート間の障害物を取り除く

データが正しく送られない

-  通信先とパソコンの通信速度を同じにする
-  通信先との距離を変えてみる
-  直射日光や蛍光灯の光の当たる場所からパソコンを離す

赤外線通信ソフトが使えない

-  使用する赤外線ソフトが正しく設定されていない
複数の赤外線通信ソフトは同時に使用できません。使用する赤外線ソフトを選択し、その他のソフトを使用不可に設定してください。

- ・「東芝 IrEther」をインストールしていない場合
- ・「Intellisync」を使用する

98

- [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
- [オプション] タブで [赤外線通信を使用不可にする] のチェックをはずす

95

- [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする
- [オプション] タブで [次のポートで赤外線通信を使用不可にする] のチェックをはずす

- ・「Microsoft 赤外線通信ソフト」を使用する
- 「Intellisync」を起動している場合は終了させてください。

98

- [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
- [オプション] タブで [赤外線通信を使用可能にする] をチェックする

95

- [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする
- [オプション] タブで [次のポートで赤外線通信を使用可能にする] をチェックする

- 「東芝 IrEther」をインストールしている場合
・「東芝 IrEther」を使用する

98 **2000**

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
[赤外線デバイスを有効にする] をチェックする
[東芝 IrEther 環境] をチェックする

95 **NT**

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
[東芝 IrEther 環境] をチェックする

- ・「Intellisync」を使用する

98

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
[赤外線デバイスを有効にする] をチェックする
[その他の赤外線環境] をチェックする
[コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする
[オプション] タブを開き、[赤外線通信を使用可能にする] のチェックをはずす

95

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
[東芝 IrEther 環境] のチェックをはずす
[コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする
[オプション] タブで [次のポートで赤外線通信を可能にする] のチェックをはずす

NT

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
[東芝 IrEther 環境] のチェックをはずす

- ・「マイクロソフト赤外線通信ソフト」を使用する
「Intellisync」が起動している場合は終了させてください。

98

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く

[赤外線デバイスを有効にする] をチェックする

[MS 赤外線環境] をチェックする

[コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする

[オプション] タブで [赤外線通信を使用可能にする] をチェックする

95

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く

[東芝 IrEther 環境] のチェックをはずす

[コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする

[オプション] タブで [次のポートで赤外線通信を使用可能にする] をチェックする

2000

タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く

[赤外線デバイスを有効にする] をチェックする

[MS 赤外線環境] をチェックする

● インターネット / メール機能について (モデム内蔵モデル)



お願い

・内蔵モデムは、デジタル構内交換機には接続しないでください。

● 回線が繋がらない



[ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してから、やり直してみてください。] または [ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続のアイコンをダブルクリックし、やり直してみてください。] と表示される



[ダイヤルアップネットワーク] の設定が間違っている次の項目の設定に間違いがあると、これらのエラーメッセージが表示され、接続できません。

- ・IP アドレス
- ・ネームサーバアドレス
- ・ダイヤルアップ時のユーザID
- ・ダイヤルアップ時のパスワード

次の手順でそれぞれの設定を確認してください。

[マイコンピュータ] をダブルクリックする

[マイコンピュータ] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップネットワーク] をダブルクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。

接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

[接続先] 画面が表示されます。

[サーバーの種類] タブで [使用できるネットワークプロトコル] の [TCP/IP 設定] をクリックする

[TCP/IP 設定] 画面が表示されます。

[IP アドレスを指定する] の設定と、[ネームサーバアドレスを指定する] の設定を確認する

設定できないIP アドレスを指定しているか、ネームサーバアドレスを指定するのを忘れていた可能性があります。IP アドレスなどの指定はプロバイダにより異なります。契約先のプロバイダに連絡し、設定に問題がないか確認してください。

[OK] ボタンをクリックする
[ダイヤルアップネットワーク] 画面に戻ります。
接続に使用するアイコンをダブルクリックする
[接続] 画面が表示されます。
[ユーザ名] と [パスワード] を確認する
ユーザ名などの設定内容については契約先のプロバイダ
に連絡し、設定に問題がないか確認してください。



[サーバーへの接続が完了しませんでした。] と表示され、
回線が切断される



「ダイヤルアップネットワーク」の設定が間違っている
次の手順で設定を確認してください。

[マイコンピュータ] をダブルクリックする
[マイコンピュータ] 画面が表示されます。
[ダイヤルアップネットワーク] をダブルクリックする
[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。
接続に使用するダイヤルアップアイコンを右クリックし、
表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする
[接続先] 画面が表示されます。
[サーバーの種類] タブで [使用できるネットワークプロ
トコル] の [TCP/IP] がチェックされているか確認す
るインターネット接続には TCP/IP 接続だけを使用する
ので、[NetBEUI] と [IPX/SPX 互換] のチェックを
はずしてください。
[OK] ボタンをクリックする



[ダイヤル中] がしばらく続いた後、[ダイヤル先のコンピュータが応答しません。] と表示される



電話番号の設定が間違っている
次の点をそれぞれ確認してください。

[ダイヤルアップネットワーク] の電話番号の設定

[マイコンピュータ] をダブルクリックする

[マイコンピュータ] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップネットワーク] をダブルクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。

接続に使用するダイヤルアップアイコンを右クリックし、
表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

[接続先] 画面が表示されます。

[全般] タブで [電話番号] が正しいか確認する

変更した場合は、[適用] ボタンをクリックし、[OK]
ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ] の電話番号の設定

[コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルク
リックする

[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。

[ダイヤルのプロパティ] をクリックする

[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。

次の点を確認する

- ・ 発信元の市外局番を正しく設定しているか
- ・ 携帯電話 / PHS を使用して通信する場合は、市外局
番に 0000 (実在しない市外局番) を設定する
- ・ 外線発信番号に不要な数字が登録されていないか
変更した場合は [OK] ボタンをクリックする



[Microsoft ダイヤルアップアダプタがインストールされていないか、または正常に応答しません。] と表示され、回線が切断される



[ダイヤルアップアダプタ] と [TCP/IP] が組み込まれていない

次の手順で追加してください。

[コントロールパネル] を開き、[ネットワーク] をダブルクリックする

[ネットワーク] 画面が表示されます。

[ネットワークの設定] タブで [現在のネットワークコンポーネント] に、次のコンポーネントが組み込まれているか確認する

- ・ダイヤルアップアダプタ
- ・TCP/IP

[ダイヤルアップアダプタ] または [TCP/IP] が表示されていない場合は、[追加] ボタンをクリックする

[ネットワークコンポーネントの選択] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップアダプタ] または [TCP/IP] を追加する

《TCP/IP を追加する場合》

[プロトコル] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする

[ネットワークプロトコルの選択] 画面が表示されます。

[製造元] で [Microsoft] [インストールするネットワーク構成ファイル] で [TCP/IP] を選ぶ

《ダイヤルアップアダプタを追加する場合》

[アダプタ] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする

[ネットワークアダプタの選択] 画面が表示されます。

[製造元] で [Microsoft] [ネットワークアダプタ] で [ダイヤルアップアダプタ] を選ぶ

[OK] ボタンをクリックする

[ネットワーク] 画面に戻ります。

[OK] ボタンをクリックする

メッセージに従って再起動する



発信音はしているが、呼び出し音が聞こえない
「回線が使用中です」と表示される



ダイヤル方法の設定が間違っている
次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[ダイヤルのプロパティ]をクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[ダイヤル方法]の[トーン] / [パルス]をご使用の回線にあわせて設定する

NTTの加入回線の場合、プッシュ回線は[トーン]、ダイヤル回線は[パルス]を選んでください。

また、ISDN回線の場合は[トーン]になります。どの回線を使っているかは、明細書などNTTとの契約書類をご覧ください。

[OK]ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする



発信音が聞こえず [発信音が聞こえません。] とエラーが表示される



電話線が繋がれていない

電話線が抜けていると上記のエラー画面が表示されます。



0 発信の回線に接続している場合の設定がされていない



メモ

- ・0 発信で外線接続する回線で接続する場合、専用の受話器以外は接続できない場合があります。
- ・自営交換機 (PBX) を介した電話回線は、直接モデム装置を接続できない場合があります。詳しくは PBX 設置業者や PBX 装置のお取り扱い元にご確認ください。

0 発信で使用する場合、次の「ダイヤルのプロパティ」と「モデムのプロパティ」の設定を行ってください。

ダイヤルのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで[ダイヤルのプロパティ]をクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[外線発信番号]の[市内通話/市外通話(市内/長距離)]に半角で0を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

モデムのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで該当するモデムを選択し、[プロパティ]をクリックする

[接続]タブで[接続オプション]の[トーンを待つからダイヤルする]のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックする



メモ

- ・ボックスの表示が薄くなっていて選択できない場合は、[詳細]をクリックし、[追加設定]に[X3]と入力します。
- ・[接続]タブで[詳細]をクリックした際に、[追加設定]に[&F]と書かれていると、上記の手順でチェックボックスをはずしても発信できなくなります。



モデム装置が故障した

落雷などの影響でモデム装置が故障した場合でも、[発信音が聞こえません]とエラーが返されることがあります。



内蔵モデムで K56flex サイトにうまく接続できない



内蔵モデムの通信モードを K56flex から V.34 モードに変更する

内蔵モデムが K56flex モードの場合、AT コマンドで K56flex を無効にして、V.34 モードで接続してください。PBX 経由など、回線品質が NTT の回線と異なる場合は、K56flex での接続ができないことがあります。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[TOSHIBA Internal V.90 Modem]を選択し、[プロパティ]をクリックする

[TOSHIBA Internal V.90 Modem のプロパティ]画面が表示されます。

[接続]タブで[詳細]をクリックする

[接続の詳細設定]画面が表示されます。

[追加設定]に半角英文字で次のように入力する

- ・K56flex モードにする場合 - V90=0 S38=1
- ・V.34 モードにする場合 - V90=1 S38=0



メモ

・S38 = 1 K56flex 有効

S38 = 0 K56flex 無効

(V.34 モード : Maxスピードは 33,600bps になります)

[OK] ボタンをクリックする


[TOSHIBA Internal V.90 Modem のプロパティ]画面の [OK] ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面の [OK] ボタンをクリックする

[追加設定]で AT コマンドの変更・追加を行なった場合は、[スタート]-[Windows の終了]から再起動してください。

再起動後、K56flex モードが無効になり、V.34 モードが有効になります。

☞ AT コマンドについて ☞ 《オンラインマニュアル》

 その他

ダイヤル発信時、呼び出し音と同時に断続した「ピー」という音が聞こえる



発信中の端末が情報機器であることを接続先端末に知らせるサイン（コーリングトーン）です。

インターネットやパソコン通信を9600bps以上で接続する場合は何の問題も起こりませんが、接続先によっては、接続直後に回線が切断されることがあります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

接続に使用するモデムをクリックし、[プロパティ]をクリックする

[接続]タブで[詳細]の[追加設定]に半角で - C0（マイナスシーゼロ）と入力する

[OK]ボタンをクリックする



メモ

- ・Windowsのモデム機能を使用せずに発信する場合、電話番号の先頭に ^（キャレット）を追加すると、コーリングトーンを出さずに電話をかけることができます。



モデムの設定を購入時の状態に戻したい



ハイパーターミナルを利用する

次の手順で操作してください。

この操作では実際に電話発信はしませんので、モデムに電話線を接続する必要はありません。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

使用しているモデム名をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックする

[ポート]を確認する

ハイパーターミナルが扱えるポート番号はCOM1～COM4です。ご使用のモデムがCOM5以降のポート番号に割り当てられている場合は操作できません。COM1～COM4にポートを割り当て直してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[ハイパーターミナル]をクリックする

[HyperTerminal]画面が表示されます。

[Hyperterm]をダブルクリックする

[接続の設定]画面が表示されます。

[名前]を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[接続方法]を、モデムを割り当てているポート番号にダイレクト接続する設定にする

例えば、COM2に割り当てている場合は[COM2へのダイレクト]になります。

[COM XXへのダイレクト]を選択すると同時に、国番号/市外局番/電話番号の入力はできなくなります。

[COM XXのプロパティ]画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリックする

ハイパーターミナルの白い画面に、AT&F&Wと入力する
キーを押す

[OK]と表示されます。

[ファイル]-[ハイパーターミナルの終了]をクリックする

[切断してもよろしいですか?]と表示されたら[はい]ボタンをクリックする

[セッションXXXを保存しますか?]と表示されたら[いいえ]ボタンをクリックする

● 音量について

● スピーカから音が聞こえない



スピーカから音が聞こえない



ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。



パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する



システムスピーカを有効に設定する



[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[Hardware Alarm]タブで[System Beep]にチェックをつける

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする



[コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする

[サウンド]タブで[システムビープを鳴らす]にチェックをつける

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする



[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする

[省電力モード]タブで利用したい省電力モードを選択し、
[詳細設定]ボタンをクリックする

[その他]タブで[システムビープを鳴らす]にチェックをつける

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする



タスクバーの [ボリュームコントロール] の設定が「ミュート」になっている

- タスクバーの [スピーカ] アイコンをクリックする
- [ミュート] にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす
- つまみを上下にドラッグして調整する
- つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



サウンドドライバが正しく設定されていない
サウンドドライバをインストールし直してください。

98 **95**

「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、サウンドドライバを再インストールする

☞ 「6 章 4 アプリケーションを再インストールする」

2000 **NT**

詳しくは、アプリケーション CD をセットして表示される画面をご覧ください。



標準の優先するデバイスが変更されている

次の手順で「優先するデバイス」を正しく設定してください。

- [コントロールパネル] を開き、[マルチメディア] (**2000** [サウンドとマルチメディア]) をダブルクリックする
- [オーディオ] タブの [再生] (**2000** [音の再生]) で「優先するデバイス」を正しく設定する
- [適用] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする



サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



録音時のサンプリング周波数が低い

次の方法で設定を変更してみてください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント](NT [マルチメディア])-[サウンドレコーダー]をクリックする

[ファイル]-[プロパティ]をクリックする

[詳細]タブをクリックし、[形式の変換]の[今すぐ変換]([変換]ボタン)をクリックする

Windows 98 / 95 の場合、[サウンド名]欄は、標準で「ラジオの音質」が設定されています。

[属性]欄を選ぶ

CDの音質の場合の属性は、「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。これを目安に属性を選んでみてください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、結果として録音できる時間は短くなります。例えばマイクロフォンを使用して録音する場合は属性をモノラルにするなどして、なるべくデータ容量を押さえてください。

属性が決まったら、[名前を付けて保存]([登録])ボタンをクリックし、[新しいファイル名]欄に名前を入力し、[OK]ボタンをクリックする

開いている画面を[OK]をクリックして閉じる

サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音をチェックしてください。



メモ

- ・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、サウンドの選択は以前の設定に戻ります。もう一度設定し直してください。

● おかしな音が聞こえる



テレビやラジオの音が聞こえてくる(モデム内蔵モデルの場合)



モジュラーケーブルがテレビ・ラジオの音を拾っている

モジュラーケーブルを延長して、パソコンと電話回線を接続している場合は、標準の電話ケーブルのみを使用して確認してください。また、モジュラーケーブルにノイズ除去用部品を取り付けてください。それでも解決できない場合は、電話回線自体がノイズを拾っている可能性があります。ご契約の電話会社に相談してください。



本体からカリカリと変な音がする



ハードディスクが自動保存を行なっている

パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの作業をしています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。

極端に異常な音が聞こえるときや、このような状態が頻繁に発生するときは、お買い上げの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。



甲高い音がする



ハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、外部マイクとスピーカとでハウリングを起こし、高く大きな音が出ることがあります。次の方法で調整してください。

- ・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・使用するソフトウェアの設定を変える
- ・ボリュームコントロールの設定で調整する

● 調子がおかしい！

● テレビ・ラジオに障害が出る



テレビ、ラジオの調子がおかしい








何らかの原因がある


次の操作をしてください。




- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・受信機に屋外アンテナを使う
- ・平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

● ハイバネーション機能が使えない

 ハイバネーション機能が使えない (  )





 ドライブCが圧縮されている
圧縮を解凍してください。


 ハイバネーション機能に対応していない周辺機器 (PC
カードなど) を取り付けている
ハイバネーション機能に対応していない周辺機器を取りはず
してください。
☞ 「周辺機器の取りはずし」 ☞ 「4章 ハードウェアについて」

 ハイバネーション用のファイルが壊れている  
次の手順でファイルを作成し直してください。

[スタート] メニューから [Windows の終了] - [MS-
DOS モードで再起動する] を選ぶ


H **A** **L** **L** **O** **C** **Space** **/** **C** **Enter** と入力する
E **X** **I** **T** **Enter** と入力する

 スタンバイまたはサスペンド状態になってしまう
(  )

 ハイバネーションの設定になっていない
次の手順で設定を変更してください。

確認 1- [電源の管理] プロパティでの設定の確認

[コントロールパネル] を開き、[電源の管理]
( [電源オプション]) をダブルクリックする


[休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をクリック
し、チェックをつける

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

確認 2- 省電力ユーティリティでの設定の確認

98 2000

- [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
- [電源設定]タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする
- [動作]タブのそれぞれのメニューで[ハイバネーション] ( 2000 [休止状態])を選ぶ
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする



95


- [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
- [省電力モード]タブで使用したい省電力モードを選択し、[詳細設定]ボタンをクリックする
- [システム]タブで[ハイバネーションを有効にする]をチェックする
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする





スタートアップにハイバネーション機能の妨げになるアプリケーションが登録されている
スタートアップからアプリケーションの登録をはずし、Windowsを再起動してください。


● パソコンの動作がおかしい


 バッテリーパックは充電したのに、すぐ Main Battery  LED がオレンジ色に点滅する


 バッテリーパックの充電機能が低下している別売りのバッテリーパックと交換してください。

 使用中に処理が遅くなる


 CPU の温度が上がった
CPU は高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPU の温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

 使用中に操作できなくなった

 電源スイッチを押す
電源スイッチを 5 秒以上押し続けると電源が強制切断されます。再度電源スイッチを押すと、メモリテストから開始されます。

 リセットスイッチを押す
リセットスイッチを押すと電源が強制切断されます。

 電源を OFF にし、**BackSpace** キーを押しながら電源スイッチを押す ( )
BackSpace キーは [ハイパネーションエラー] が表示されるまで押し続けてください。メモリテストから開始されます。

 AC アダプタとバッテリーを取りはずした後、再起動する
AC アダプタと電源コードをはずしてから、バッテリーをはずす
電源が OFF になります。
バッテリーを取り付けてから、AC アダプタを取り付ける
再度電源スイッチを押す
メモリテストから開始されます。

内蔵時計が合っていない

[日付と時刻]画面で修正する

次の手順で行なってください。

[コントロールパネル]を開き、[日付と時刻]をダブルクリックする

[時刻]に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする

「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。

デジタル時計右端の上下のボタンで、時刻の修正を行う

[適用]または[更新]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

時計用バッテリーが充電されていない

パソコン本体にACアダプタを接続して、しばらく時計用バッテリーを充電してください。

時計用バッテリーの充電機能が低下している

お近くの保守サービスにご連絡ください。

充電したはずのバッテリーパックを使用しても、Main Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない

長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電する

それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

● その他調子がおかしい



調子がおかしい



ウイルスに感染している

ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。



強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次の通りです。この場合、レジューム機能は無効になります。

98 **95**

[Ctrl] + [Alt] + [Del] キーを押す

[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。

[Alt] + [S] キーを押す

プログラムを強制終了します。パソコンを再起動してください。

2000 **NT**

[Ctrl] + [Alt] + [Del] キーを押す

[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。

[Alt] + [S] キーを押す

[シャットダウン] (**NT** [シャットダウン後、電源を切る]) をクリックし、[OK] ボタンをクリックする
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

パソコンの電源を入れる

● 不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってわからない場合、次の点をご確認ください。



「Password = 」と表示される



パスワードが設定されている

設定したパスワードを入力し、**Enter** キーを押してください。パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。



「入力されたパスワードが間違っています」と表示される



大文字ロックの状態パスワードを入力した

Shift + **CapsLock 英数** キーを押して大文字ロックの状態を解除し、再度入力してください。



「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE.
PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された



ハイバネーション機能が無効になったというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。



使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので...」
というメッセージが表示された



ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった

画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。



次のようなメッセージが表示された

- ・「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- ・「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- ・「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- ・「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- ・「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- ・「Cannot load DOS press key to retry」



システムディスクをセットし、何かキーを押す



フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す



「Boot sequence is changed.」と表示された



システム起動順番を変更したというメッセージです。しばらくお待ちください。



C:¥WINDOWS > _ や C:¥ と表示される



MS-DOS プロンプトが全画面表示されている

98 **95**

次の手順で MS-DOS プロンプト画面を終了してください。

`C:WINDOWS>EXIT` と入力する
Enter キーを押す

2000 **NT**

`Alt` + `Enter` キーで通常のウィンドウ表示と切り替える



「KBC ERROR」と表示された



PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている場合は、パソコン本体の電源を一度切り、取りはずしてから再起動する

それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。



上記以外のメッセージが表示される



ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

● 異常や故障の場合



異常な臭いや過熱に気づいた！



電源を切り、電源コードを抜く

お近くの保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、東芝 PC ダイアルにご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態

● 東芝 PC サービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝 PC サービス・サポートのご案内』をご覧ください。

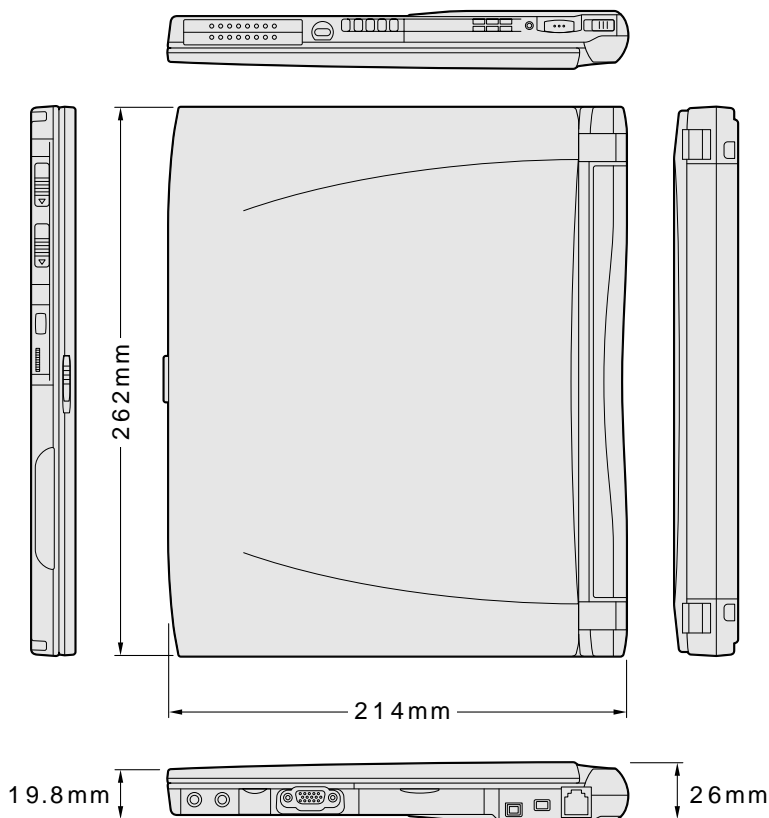
付録

本製品の仕様について説明しています。

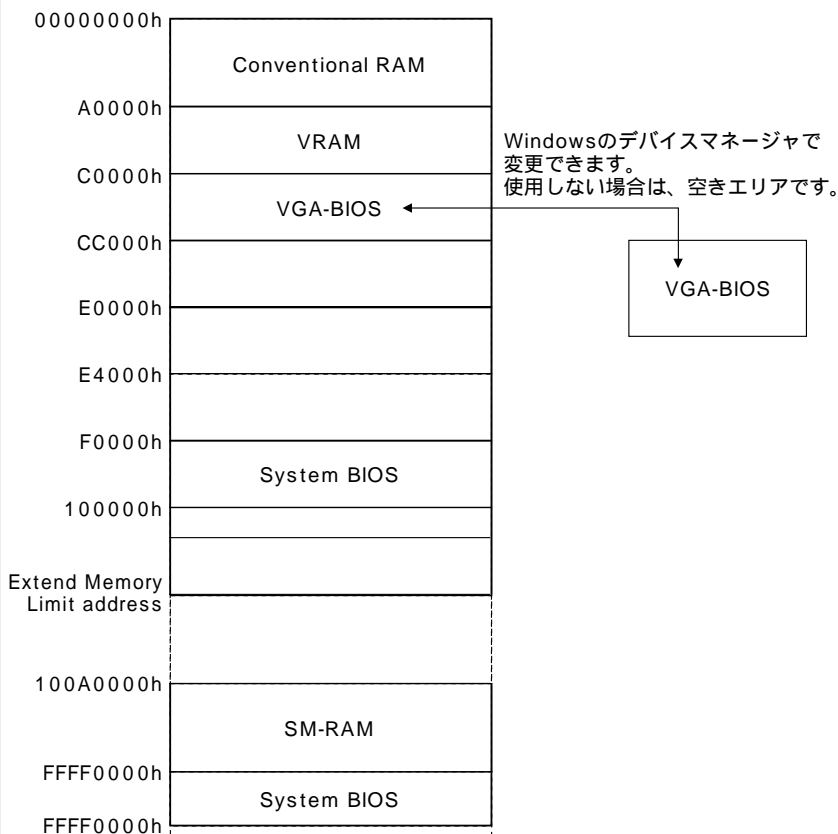
1 製品仕様	260
2 各インタフェースの仕様	264

1 製品仕様

1 外形寸法図



② メモリマップ



3 I/Oポートマップ

000h	
020h	DMAコントローラ #1
040h	IRQコントローラ #1
060h	タイマ
060h	KBC
070h	NMIマスキレジスタ

	RTC
080h	
0A0h	DMAページレジスタ
0C0h	IRQコントローラ #2
0F0h	DMAコントローラ #2
	(NDP)
170h	
178h	
1F0h	
1F8h	HDC
200h	
220h	
230h	-----
240h	-----
250h	
278h	
2E8h	プリンタポート #2
2F0h	シリアルポート #4
2F8h	
300h	モデム (COM2)*
	サウンド
376h	
378h	
380h	プリンタポート #1
	サウンド
3B0h	VGA
3BCh	プリンタポート #3
3C0h	VGA
3E0h	東芝PCカード インタフェースコントローラ
3E8h	シリアルポート #3
3F0h	
3F8h	シリアルポート #1
400h	
530h	サウンド (WSS)
548h	
678h	
67Bh	プリンタポート #2
778h	
77Bh	プリンタポート #1
7BCh	
7BFh	プリンタポート #3
E80h	
	サウンド
E88h	
F40h	
	サウンド
F48h	

サウンド (切り替え)

4 DMA 使用リソース

DMA	
0	サウンド
1	サウンド、プリンタ
2	プリンタ
3	サウンド、プリンタ
4	Cascade for CTLR1
5	
6	
7	

5 IRQ 使用リソース

IRQ		PIT
0	タイマ (PIT)	#1
1	キーボード (KBC)	
2	IRQ8 ~ 15 PIT #2入力	
3	COM2、COM4、PCカード	
4	COM1、COM3、PCカード	
5	PCカード、COM3、COM4、プリンタポート #2	
6		
7	プリンタポート #1、PCカード、COM3、COM4、 プリンタポート #3	#2
8	RTC	
9	ACPI	
10	PCカード	
11	PCIバス (サウンド、PCカード、USB、VGA、赤外線)、モデム*	
12	マウス	
13	NDP	
14	HDC	
15	CD-ROM / DVD-ROM	

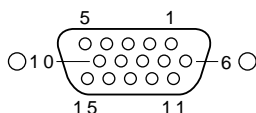
* モデム内蔵モデルの場合

② 各インタフェースの仕様

① RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	IDO	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号	O
15	SCL	SCLデータクロック信号	I/O

コネクタ図



高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名 : - が付いているのは、負論理の信号です。

信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

② モデムインタフェース（モデム内蔵モデル）

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-	ノーコンタクト	
2	Unused	未使用	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	Unused	未使用	
6	-	ノーコンタクト	

コネクタ図

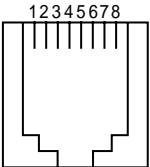
信号方向（I）：パソコン本体への入力

信号方向（O）：パソコン本体からの出力

③ LAN インタフェース (LAN 内蔵モデル)

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TX	送信データ (+)	O
2	- TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	- RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図



The diagram shows a standard RJ45 connector with eight pins. The pins are numbered 1 through 8 from left to right at the top of the connector. The connector has a rectangular shape with a notch on the right side and a small tab on the left side.

信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

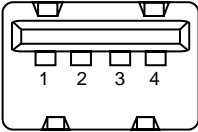
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

4 USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+ 5V	
2	- Data	マイナスデータ	I/O
3	+ Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グランド	

コネクタ図



信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

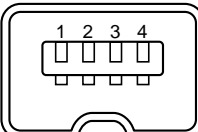
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

5 IEEE 1394 インタフェース (モデム内蔵モデル)

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TPB -	ストロープ受信 / データ送信 (2対の差動信号)	
2	TPB +	ストロープ受信 / データ送信 (2対の差動信号)	
3	TPA -	データ受信 / ストロープ送信 (2対の差動信号)	
4	TPA +	データ受信 / ストロープ送信 (2対の差動信号)	

コネクタ図




信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力



さくいん

記号	I
 キーを使った	I/O アダプタ 123
ショートカットキー 46	IEEE1394 機器の取り付け 152
A	IEEE1394 機器の取りはずし .. 153
AC アダプタ 28	IEEE1394 コネクタ 27
AC アダプタの取り扱い 33	Ins キー 41
Alt キー 40	L
Application CD-ROM 191	LAN ケーブルの接続 140
Arrow Mode LED 26	LAN コネクタ 27
B	M
BackSpace キー 41	Main Battery LED 26, 38
C	N
Caps Lock LED 26	Numeric Mode LED 26
CapsLock 英数キー 40	P
CD の取り扱い 21	Pause キー 41
Ctrl キー 40	PC カードスロット 0 29
D	PC カードスロット 1 29
DC IN LED 26, 35	PC カードの取り付け 130
Del キー 41	PC カードの取りはずし 131
Disk LED 26	PC カードリリースレバー 0 29
E	PC カードリリースレバー 1 29
Enter キー 41	Power LED 26, 35
Esc キー 40	Product Recovery CD-ROM (Windows 2000 / NT).... 191
F	Product Recovery CD-ROM (Windows 98 / 95)..... 190
Fn キー 41	R
Fn キーを使った特殊機能キー ... 45	RGB コネクタ 27
H	S
HW セットアップ 187	Shift キー 40, 41

T	キ
Tab キー 40	キーシフトインジケータ 26
Toshiba Hardware Setup... 187	キーボードの取り扱い 21
U	吸気口 26
USB 機器の取り付け 151	ク
USB 機器の取りはずし 151	クリック 39
USB コネクタ 27	ケ
W	ケーブルの接続 122
Win キー 40	コ
ア	コントロールボタン 26, 39
アキュポイント 26, 39	コンパクトディスクの取り扱い... 21
アキュポイント の取り扱い 22	サ
アプリケーション	サイドライト用 FL 管 22
& ドライバ CD-ROM 190	サウンド 49
アプリケーションキー 41	サスペンド機能 92
オ	シ
オーバレイキー 41	システムインジケータ 26
オンラインマニュアル 108	システムスピーカ 50
音量を調整する 49	シャットダウン機能 92
エ	省電力ユーティリティ
液晶ディスプレイの取り扱い 22	(Windows 2000) 175
カ	省電力ユーティリティ
書き込み可能状態 135	(Windows 95) 170
書き込み禁止状態 135	省電力ユーティリティ
拡張コネクタ 27	(Windows 98) 164
カスタム・リカバリ CD 190	省電力ユーティリティ
漢字キー 40	(Windows NT) 181
漢字変換 48	照明 32
簡単インターネット 185	消耗品 24

ス	大容量バッテリーパックの 取りはずし 159
スクロール 39	ダブルクリック 39
スクロールボタン 26, 39	
スタンバイ機能 92	テ
スピーカ 26, 49	ディスプレイ 26, 34
スペースキー 40	ディスプレイ開閉ラッチ ... 26, 34
	電源コード 28
セ	電源コードの接続 33
制御キー 44	電源コードの取り扱い 21, 33
赤外線ポート 26	電源コネクタ 27
セキュリティロックスロット 26	電源スイッチ 26, 54
セットアップ	電源スイッチロック 26, 54
(Windows 2000) 73	電源を供給する 33
セットアップ (Windows 95) ... 66	
セットアップ (Windows 98) ... 58	ト
セットアップ (Windows NT) ... 82	特殊機能キー 47
全候補キー 41	時計用バッテリー 115
	ドラッグアンドドロップ 39
ソ	
増設メモリスロット 27	ナ
増設メモリの取り付け 155	内蔵マイク 26
増設メモリの取りはずし 156	
	ニ
タ	日本語入力システム 47
タイマオン機能	入力モード 48
(Windows 95) 174	
タイマオン機能	ネ
(Windows NT) 184	ネットワーク設定
大容量バッテリー LED 26, 38	(Windows 98 / 95) 141
大容量バッテリー接続コネクタ 27	ネットワーク設定
大容量バッテリーの取り付け 160	(Windows NT) 147
大容量バッテリーの取りはずし .. 162	ネットワ - ク設定
大容量バッテリーパックの	(Windows 2000) 145
取り付け 159	

ハ

排気口	26
ハイバネーション機能	92
パソコン使用時の環境	31
パソコン使用時の姿勢	32
パソコンの使用方法	32
パソコンの設置環境	31
パソコン本体の取り扱い	20
バッテリー駆動	36
バッテリー充電量の確認	112
バッテリー充電量の減少	116
バッテリーの充電時間	37
バッテリーの充電方法	36
バッテリーの使用時間	115
バッテリーパック	27
バッテリーパックの 取りはずし / 取り付け	118
バッテリー・リリ - スラッチ	27

ヒ

表示不良画素	22
--------------	----

フ

ファンクションキー	40
フロッピーディスク ドライブ	28, 136
フロッピーディスク ドライブの取り扱い	23, 136
フロッピーディスクの取り扱い	134

ヘ

ヘッドホン出力端子	27
-----------------	----

ホ

ボリュームコントロール	49
ボリュームダイヤル	26, 49

マ

マイク入力端子	27
マルチメディア ポータリプリケータ	125

ミ

ミニ I/O アダプタ	124
-------------------	-----

モ

文字キー	42
モジュラーケーブル	28
モジュラーケーブルの 取り付け	138
モジュラーケーブルの 取りはずし	139
モジュラージャック	27
持ち運ぶとき	23
モデム	23, 138

ヤ

矢印キー	41
------------	----

ユ

ユーザ登録	90
-------------	----

ラ

ライトプロテクトタブ	135
------------------	-----

リ

リカバリ CD	191
リセットスイッチ	26
リリース情報	23

ロ

ローマ字キー	41
--------------	----

